国土交通省
関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.
Press Release



令和８年１１月１３日
国土交通省関東地方整備局
企画部

現場ニーズと技術シーズのマッチングを開始！

～現場ニーズを解決できる、技術シーズを公募します～

国土交通省では、現場ニーズに対応できそうな技術を持っている企業を広く公募し、ニーズの内容とマッチングする技術について現場で試行を行い、技術評価を行った上で更なる技術改良や試行現場の拡大による現場実装を目指す「現場ニーズと技術シーズのマッチング」の取組を行っています。

この度、令和８年度の現場ニーズ７件について、技術シーズの公募を開始します。

＜応募期間＞

令和８年１１月１３日（金）　～　令和９年１月８日（金）

＜公募技術＞

国土交通省関東地方整備局管内の事務（管理）所等より収集された現場ニーズ（令和８年度現場ニーズ一覧表参照）に対して、課題解決や要求水準を満足する可能性のある技術シーズを対象とします。

＜応募方法＞

公募要領、応募様式などの詳細については、関東地方整備局のホームページをご確認ください。

＜発表記者クラブ＞

竹芝記者クラブ　　埼玉県政記者クラブ　　横浜海事記者クラブ　　神奈川建設記者会

＜問い合わせ先＞
関東地方整備局 企画部
電話：０４８－６０１－３１５１（代表）　メールアドレス：ktr-netis@mlit.go.jp
建設情報･施工高度化技術調整官　金澤（かなざわ）（内線：３１３２）
施工企画課　建設専門官　　柿沼（かきぬま）（内線：３４５６）

現場ニーズと技術シーズのマッチング

国土交通省では、様々な分野の産学官が連携して、IoT・人工知能（AI）などの革新的な技術の現場導入や3次元データの活用などを進めることで、生産性が高く魅力的な新しい建設現場の創出を目的に“現場ニーズと技術シーズのマッチング”の取組を行っています。

現場ニーズと技術シーズのマッチングとは？

建設現場で困っていることや試してみたいことを「現場ニーズ」、それを解決する技術を「技術シーズ」と称して、現場ニーズを地方整備局等のHP上で公表、このニーズに対応出来そうな技術を持っている企業を広く公募します。

マッチングイベント（技術のプレゼン）を行い現場条件や技術の内容を確認します。

マッチングが成立した技術は現場での試行を行い、技術評価を行った上で現場実証結果から更なる技術改良や試行現場の拡大による現場実装を目指すといった取り組みです。



【メリット】

現場で必要な技術が見つかる
現場で抱える問題点を解決できる

マッチング成立
現場試行実施

現場で試験が可能
今後の技術開発の参考となる

※現場試行や試行結果資料の作成・提出など、費用はシーズ応募者の負担となります

マッチングの進め方

ニーズの公募
↓
シーズの公募
↓
マッチングイベント
↓
マッチングの調整・決定
↓
現場試行
↓
試行結果評価
↓
試行結果の公表

活用効果が良好な技術 → 普及促進技術に指定
活用効果が同等 → NETIS登録を促す
改良が必要 → 改良点を助言 → シーズの公募

普及促進技術に指定 → NETIS登録、事務所での試行活用
NETIS登録を促す → NETIS登録、事務所での試行活用
NETIS登録、事務所での試行活用 → 発注工事による新技術活用（普及促進化）

■直轄の事務（管理）所等へニーズを公募

■ニーズを取りまとめ、技術シーズを公募
応募のあった技術シーズについて、ニーズ側でマッチングの可能性検討

■ニーズ提案者とシーズ提案者によるプレゼンテーション

■ニーズ提案者とシーズ提案者の双方で現場条件等を調整し、マッチングの可否を決定

■マッチングが成立した技術について、順次、現場試行を行う

■ニーズ・シーズ双方で作成した調査表を元に、試行結果の評価を実施

■現場試行の結果について検証し、結果をHPにて公表

■商品化した技術はNETISに登録（シーズ提案者）
■活用の効果が良好な技術は、普及促進技術に指定発注工事による新技術活用を目指す

マッチング現場試行実施事例

急勾配でも除草できる無人化・遠隔化技術

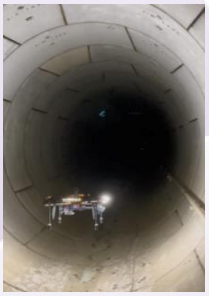




トンネル点検の省力化・自動化技術



コスト縮減、省力化及び安全確保を目指した導水路の点検技術




技術シーズの募集情報はこちら

問い合わせ先　国土交通省関東地方整備局 企画部 施工企画課
ニーズ・シーズマッチング担当　E-mail：ktr-netis@mlit.go.jp

「現場ニーズに対応する新たな技術（シーズ）」に関する公募要領
令和８年度　関東地方整備局

目　次

１．公募の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
２．公募技術・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（１）対象技術
（２）応募技術の条件等
３．応募資格等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（１）応募者
（２）共同開発者
４．応募方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（１）資料の作成及び提出
（２）提出先
（３）応募期間
（４）質問の受付
（５）応募書類に不備があった場合の取扱い
（６）秘密の保持
（７）その他
５．技術の選定に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
（１）選定に当たっての前提条件
６．マッチングイベント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
７．個別調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
８．審査結果の通知・公表について・・・・・・・・・・・・・・・４
（１）選定結果
（２）選定結果の公表
（３）選定の取り消し
（４）その他
９．現場試行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
１０．費用負担・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
１１．その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

１．公募の目的

本公募は、「i-Construction・インフラDX推進コンソーシアム」（以下「コンソーシアム」という。）の規約等に基づき、最新技術の現場導入のための新技術を発掘することを目的としており、現場において解決したい課題（以下「ニーズ」という。）に対して、その課題を解決できる新たな技術（以下「シーズ」という。）を募集するものです。

２．公募技術

（１）対象技術

国土交通省関東地方整備局管内の事務（管理）所等より収集された現場ニーズ（別紙－１）に対して、ニーズの課題や要求水準を解決する可能性のある技術シーズとします。

（２）応募技術の条件等

応募技術に関しては、以下の条件を満たすものとします。

１）新技術情報提供システム（以下「NETIS」という。）に登録されていない技術とします。なお、過去にNETISへ登録されており掲載終了となった技術は対象外です。

ただしNETISに登録している技術、過去にNETISに登録されていた技術であっても、ニーズの内容によっては、NETISに登録されている技術を新たに改良する事により、マッチングできる可能性があるものについては、対象技術とします。

２）マッチングの可否についての選定等の過程において、選定等に係わる者（事務局等）に対して、応募技術の内容を開示しても問題がないものとします。

３）応募技術を公共事業に活用する上で、関係法令に適合していることとします。

４）選定された応募技術について、技術内容及び試験結果等を公表するので、これに対して問題が生じないこととします。

５）応募技術に係わる特許権等の権利について問題が生じないこととします。

６）「３．応募資格等」を満足することとします。

３．応募資格等

（１）応募者

１）応募者は、以下の２つの条件を満足するものとします。

・応募者自らが応募技術の開発を実施した「個人」又は「民間企業」であること。

・応募技術を基にした業務を実施する上で必要な権利及び能力を有する「個人」又は「民間企業」であること。なお、行政機関（＊１）、特殊法人（株式会社を除く）、公益法人及び大学法人等（以下「行政機関等」という）については、新技術を率先して開発、活用または普及する立場にあり、選定された技術を各地方整備局等の業務で活用を図る場合の実施者（受注者）になり難いことから、自ら応募者とはなれませんが、（２）の「共同開発者」として応募することができるものとし

ます。

（＊１）:「行政機関」とは、国及び地方公共団体とそれらに付属する研究機関　等の全ての機関を指します。

２）予算決算及び会計令第７０条(一般競争に参加させることができない者)、第７１条（一般競争に参加させないことができる者）の規定に該当しない者であること。並びに警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずるものとして、国土交通省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

（２）共同開発者

申請する共同開発者は、応募技術の開発に関して参画された「個人」や「民間企業」、「行政機関等」とします。

４．応募方法

（１）資料の作成及び提出

応募資料は、別添公募資料作成要領に基づき作成し、提出方法はE-mailとし５ＭＢを超える場合はファイルを分割し送付してください。E-mail によらない場合は、電子媒体（ＣＤ－ＲまたはＤＶＤ－Ｒ）での提出も可とし、郵送により事務局に提出するものとします。

（２）提出先

〒３３０-９７２４　埼玉県さいたま市中央区新都心２－１　合同庁舎２号館
国土交通省 関東地方整備局 企画部　施工企画課　新技術担当　宛
E-mail：seedskantou@actec.or.jp

（３）応募期間

令和８年11月１３日（金）～令和９年１月８日（金）

（最終日は、E-mail による提出の場合、１７時まで受付を行います。郵送により提出の場合は、当日必着とします。）

（４）質問の受付

この応募に対する質問がある場合においては、次に従い提出してください。

１）提出方法：E-mailにより提出してください
２）受付期間：令和８年１２月１８日（金）まで
３）回 答 日：令和８年１２月２４日（木）
４）受付場所：４．応募方法（２）提出先に同じ

（５）応募書類に不備があった場合の取扱い

提出期限以降における申請書又は資料の差し替え及び再提出は認めません。

応募書類について、募集要領に従っていない場合や不備がある場合、また応募書類の記述内容に虚偽があった場合は、応募を原則無効とします。

（６）秘密の保持

応募書類は、応募者等の利益保護の観点から、原則として審査以外の目的に使用しませんが、重複排除の調査等のため、応募に関連する情報について関係機関に対して情報提供を行うことがあります。

また、応募書類はマッチングイベント参加者の特定のためにのみ利用し公表しません。ただし、実施が適当であると判断された応募技術については、応募技術の概要を公表することがあります。それ以外の応募書類については、事務局で責任を持って保管するものとし、マッチングイベント終了後に廃棄するものとします。

（7）その他

1）申請書及び資料の作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とします。

2）提出された申請書及び資料は、返却しません。

5．技術の選定に関する事項

（1）選定にあたっての前提条件

1）公募技術、応募資格の条件等に適合していることとします。

2）応募方法、応募書類及び記入方法に不備がないこととします。

6．マッチングイベント

提出された応募資料に基づき、下記の期間においてマッチングイベントを行います。マッチングイベントは、Microsoft Teams による Web 会議を予定しており、詳細な日時及び URL は、令和９年１月１５日（金）までに、別途メールにより連絡します。なお、マッチングイベントに参加しなかった場合は失格とします。

マッチングイベントでは、シーズ開発者において、対象ニーズに対して課題解決の手法やシーズの内容についてプレゼンテーションを実施していただく予定です。

マッチングイベント期間：令和９年１月１８日（月）～令和９年１月２９日(金)

7．個別調整

マッチングイベント終了後、提案されたシーズについて、ニーズ提案者及び事務局と協議の上、マッチングの可能性があると判断された場合は、ニーズ提案者、シーズ応募者及び事務局による個別調整を実施し、令和９年２月１２日（金）までに最終的なマッチングの可能性の可否について確認を行います。

8．選定結果の通知・公表について

マッチングイベント終了後、個別調整を経て最終的にシーズとして選定した技術については、下記のとおり選定結果等を通知します。

（1）選定結果

シーズ応募者に対して選定されたか否かについて文書により通知します。

申請する共同開発者には選定結果の通知は行いません。

（２）選定結果の公表

選定された技術はホームページで公表します。

なお、公表は令和９年２月２４日（水）を予定しています。

（３）選定の取り消し

選定の通知を受けた者が次のいずれかに該当することが判明した場合は、通知の全部または一部を取り消すことがあります。

・選定の通知を受けた者が、虚偽その他不正な手段により選定されたことが判明したとき。

・選定の通知を受けた者から取り消しの申請があったとき。

・その他、選定通知の取り消しが必要と認められたとき。

（４）その他

審査結果に関する問合せには応じませんので予めご了承ください。

９．現場試行

マッチング成立後、原則として、ニーズ提供者の現場において現場試行を実施することとします。

現場試行に先立ち、試行計画書を作成し、ニーズ提供者に提出していただきます。

試行結果は、試行結果報告書に整理して提出していただきます。

試行結果報告書の様式及び試行結果の提出期限は、別途連絡します。

10. 費用負担

（１）応募資料の作成及び提出に要する費用、現場試行を実施する費用は、応募者の負担とします。

（２）現場試行以外に、ニーズを解決するための試験・調査等に係る費用は、応募者の負担とします。

（３）整備局等関係者が立会確認を行う場合、立会者に要する費用は整備局等で負担します。

11. その他

（１）応募された資料は、技術選定以外に無断で使用することはありません。

（２）応募された資料は返却しません。

（３）選定の過程において、シーズ応募者には応募技術に関する追加資料の提出を依頼する場合があります。

（４）現場試行の結果、得られた成果については、公共目的で国が利用する場合は、その使用を認めていただきます。

また、本制度による当該技術研究開発の成果である特許権等について専用実施権及び独占的な通常実施権を設定しないこととします。

令和8年度現場ニーズ一覧表

概要資料No	分類	事務所名	現場ニーズの名称	現場ニーズの概要
1	新工法・建設材料	霞ヶ浦河川事務所	表土の再利用に向けた根茎除去	霞ヶ浦浚渫土埋立地では、表土にヨシ等の根茎が多く混入しているため、工事で発生した表土の再利用が困難となっている。除草やヨシ焼、除草剤散布等による対策を実施しているが根茎の枯死や生育抑制対策が不十分であるため、表土の根茎等を除去または、粉砕し中詰土として再利用可能とする技術を求める。
2	点検・維持管理	京浜河川事務所	小型船舶による簡易的な浚渫	多摩川下流部では、堆砂により河川管理船の安全な運航や緊急船着場の利用に支障が生じている。従来の浚渫工事は時間を要することから、河川管理船に後付けで着脱可能な浚渫装置により、必要なタイミングで必要箇所の堆砂を除去できる技術を求める。
3	点検・維持管理	京浜河川事務所	AI画像認識技術を用いた水門等遠隔操作時の安全確認	樋門・樋管・水門等の遠隔操作において、現地目視確認では、操作時に操作員を現地に派遣する必要があり、操作員不足となった場合や急激な水位上昇が発生した場合に操作が行えない可能性がある。そこで、施設監視カメラを用いた遠隔操作を行う必要があるが、映像による確認では同時に複数台のカメラを監視しながらの安全確認となり、見落としが発生する恐れや急な変状に対応できない恐れがあるため、施設監視カメラによる安全確認を補助する目的としてAI画像認識技術を用いて操作範囲内の人、車両、船舶及び支障物を自動検知し、安全確認を支援する技術を求める。
4	点検・維持管理	日光砂防事務所	魚道における効率的な堆積土砂撤去技術	日光砂防事務所管内の大谷川や稲荷川の魚道内に土砂等が堆積した際、水替えを行ったうえで、小型バックホウや人力により既設構造物を損傷与えないよう配慮しながら慎重に撤去を行っている。このため作業に多くの労力と時間を要していることから、省人化・省力化・遠隔化を図りながら効率的に水替え作業および土砂等を撤去できる技術を求める。
5	点検・維持管理	相模川水系広域ダム管理事務所	自動ダム湖法面点検技術	宮ヶ瀬ダムでは、広大なダム湖及び周辺施設の巡視・点検に多くの時間と労力を要している。また、災害時にはダム湖周辺施設やダム湖法面の点検が必要となるが、点検員の人員確保が困難となることから、通常時及び災害時の巡視・点検を自立航行UAV自動機械等を用いてダム湖内の状況を映像等で記録するとともに、法面崩壊等の変化を検知できる技術を求める。
6	点検・維持管理	宇都宮国道事務所	自立歩行型のフィジカルAIロボットによる道路維持管理支援技術	宇都宮国道事務所が管理する歩道部、法面、階段部、橋梁等の車両によるアクセスが困難な箇所では、作業員の徒歩による巡回・点検が主体となっている。このため、段差や階段等を移動できる自立歩行型フィジカルAIロボットにより、巡回・点検、交通規制支援、資機材運搬・設置、軽微な清掃等を実施し、映像や計測データを取得・伝送できる技術を求める。
7	点検・維持管理	国営昭和記念公園事務所	ロボットによる園内巡視等の自動化、省力化と危険作業の回避を行う技術	明治記念大磯邸園では、園内における通常時および災害時の建物・施設の異状確認を警備員による巡視・点検に依存しており、確認に時間を要するほか、夜間作業の危険性や警備員の担い手不足・高齢化が課題となっている。このため、自立歩行可能なフィジカルAIを活用したロボットによる効率的かつ安全な巡視・点検を支援する技術を求める。

現場ニーズの概要書については、関東地方整備局のホームページをご確認ください（https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000107.html）

「現場ニーズに対応する新たな技術（シーズ）」に関する公募資料作成要領
令和８年度　関東地方整備局

１．応募に必要な書類

応募にあたっては、以下の資料が必要となります。様式については、国土交通省関東地方整備局のホームページよりダウンロードすることができます。

（https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000107.html）

応募書類に使用する言語は日本語とします。やむを得ず他国の資料を提出する場合は、日本語で解説を加えてください。

① 「現場ニーズに対応する新たな技術シーズ」申請書 （様式－１）
② 技術概要書 （様式－２）
③ 令和８年度マッチングイベント日程調整表（様式―３）
④ 添付資料 （任意）
⑤ 電子データ（①～④）

※提出資料①～④、はＡ４版とします。ただし、④添付資料は原則Ａ４版としますが、パンフレット等でＡ４版では判読できない等の不都合が生じる場合は、この限りではありません。また、④添付資料には通し番号を記入してください。

※提出方法は原則 E-mail とし、一度に送付できるファイル容量は５ＭＢまでとします。５ＭＢを超える場合はファイルを分割し送付してください。E-mail によらない場合は、電子媒体（ＣＤ－ＲまたはＤＶＤ－Ｒ）での提出も可とし、郵送により事務局に提出するものとします。

※選定にあたって新たに必要となった資料の提出等を、応募者に求めることがあります。

２．各資料の作成要領

（１）「現場ニーズに対応する新たな技術シーズ」申請書（様式－１）

１）応募者は、応募技術を中心となって開発した「個人」又は「民間企業」とします。応募者が「個人」の場合は、所属先と役職並びに氏名を記入してください。また、応募者が「民間企業」の場合は、企業名とその代表者の役職並びに氏名を記入の上、エクセルデータおよびＰＤＦファイルの両方を提出して下さい。

申請書のあて先は、「国土交通省関東地方整備局長 宛」とします。

２）「１．技術名称」は、３０字以内でその技術の内容及び特色が容易に理解できるものとし、商標等も記入してください。

３）「２．現場ニーズ名、ニーズ事務所名」は、公募要領の別紙－１ 現場ニーズの概要表に該当する現場ニーズの名称、事務所名を記載してください。

４）「３．窓口担当者（選定結果通知先）」は、応募にあたっての事務窓口・連絡担当者１名を記入してください。

応募者が複数の場合は、応募会社名に列記してください。代表の窓口は最初に記載し、会社名の後ろに（代表）と記載して下さい。連絡先は応募者の代表を記載してください。

なお、応募者が複数の場合、選定結果の通知は、代表の窓口に送付します。

５）「４．共同開発者（個人・民間企業・行政機関等）」は、共同開発を行った応募者以外の個人や民間企業、行政機関等について記入してください。なお、共同開発者がいない場合は、記入は不要です。

６）申請書の提出にあたっては、i-Construction を推進するための現場ニーズ・技術シーズのマッチング実施要領、「現場ニーズに対応する新たな技術（シーズ）」に関する公募要領、「現場ニーズに対応する新たな技術（シーズ）」に関する公募資料作成要領（以下、「実施要領等」という）を確認してください。

申請書の提出をもって実施要領等に記載の内容に同意したものとします。

（２）技術概要書 （様式－２）

１）応募者名、技術シーズの名称は（様式－１）と同一にしてください。

２）応募するニーズは、公募要領の別紙－１ 現場ニーズの概要表に該当する現場ニーズの名称、事務所名を記載してください。

３）各シートについては、簡潔かつ具体的に記入してください。

（３）令和８年度マッチングイベント日程調整表 （様式－３）

１）応募者名、技術シーズの名称は（様式－１）と同一にしてください。

２）マッチングイベントの実施について、日程表から第１希望から第５希望までを選択してください。補足事項がある場合は備考に記入してください。

（４） 添付資料（任意）

その他応募技術の説明に必要な資料があれば、添付してください。

様式－１

「現場ニーズに対する新たな技術シーズ」申請書

申請日：　令和　　年　　月　　日

国土交通省　関東地方整備局長　様

ふりがな

法人名：

ふりがな

代表者名：

所在地：

下記の技術を「現場ニーズに対する新たな技術シーズ」として応募します。

記

ふりがな

1 応募技術名：（シーズ）

2 現場ニーズ名：

ニーズ事務所名：

3 窓口担当者（選定結果送付先等）

ふりがな

応募会社名：

所属部署：

役職：

ふりがな

氏名：

所在地：

電話：

E-mail：

4 共同開発者　　←あり・なしを選択し、ありの場合は以下を記入

ふりがな

法人名：

ふりがな

担当者名：

電話：

E-mail：

申請書の提出にあたっては、i-Construction を推進するための現場ニーズ・技術シーズのマッチング実施要領、「現場ニーズに対応する新たな技術（シーズ）」に関する公募要領、「現場ニーズに対応する新たな技術（シーズ）」に関する公募資料作成要領（以下、「実施要領等」という）を確認してください。

申請書の提出をもって実施要領等に記載の内容に同意したものとします。

実施要領等：https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000225.html

【シーズ技術名】
○○○○○○○

会社名：○○○株式会社

【応募するニーズ】　※該当のニーズ情報を以下に転記してください。

・現場ニーズ名：

・ニーズ事務所：○○○事務所

＜以下の1～8の各項目について、資料を作成してください＞

※全てのページを埋める必要はありませんが、極力詳細にご記載ください。

（青文字部分は記載例です。削除してご使用ください。）

1. 応募するニーズの前提条件に対する説明（必須項目）
2. 提案する技術（シーズ）の概要（必須項目）
3. 提案の具体的内容（必須項目）

   （ニーズに対して想定するシーズ内容と活用イメージ等）
4. 提案の特徴（強み、他社との差別化ポイント）*（任意項目）*
5. 現場導入により期待される効果 *（任意項目）*
   - シーズ技術活用のメリット
   - 現場導入の事例（写真、イメージ、図解等を入れて説明）
6. 現場導入にあたっての課題 *（任意項目）*
   - シーズ技術を現場導入する上で想定される課題や現場条件等
   - 今後のシーズ技術の発展性等
7. その他（提案上必要な情報があれば記載、頁の追加も可能）*（任意項目）*
8. 会社（協力企業）概要（必須項目）

1. 応募するニーズの前提条件に対する説明

【ニーズ側が求める条件】

（1）必須（must）の条件（満たさなければ提案不可とする条件）

○ 草刈高10㎝程度
○ 人・構造物への接触防止対策がされていること
○ 日当たり施工量680㎡以上

（2）必須（must）ではないが望ましいまたは期待する条件

○ 肩掛け式機械による施工より安価で作業効率が高いこと
○ 飛び石対策がされた機械、転倒・滑り防止対策がされた機械
○ 作業員が取り扱いしやすいもの、ゴミ（空き缶・ビニール 等）や流木等の巻き込み対策がされた機械
○ 低騒音・振動機械または電動機械

【シーズ技術で対応できる内容】

（1）必須（must）の条件への対応

○ 本技術は草刈高を任意に□㎝～□㎝に設定でき、障害物検知機能を搭載している。1時間当たりの草刈り面積は約150㎡程度であり、1日当たり（6時間施工とした場合）は約900㎡の草刈りが可能である。

（2）必須（must）ではないが望ましいまたは期待する条件への対応

○ 遠隔式（リモコン操作）による除草機械で、作業効率（除草能力）は肩掛け式と同程度である。
○ 飛び石、転倒防止機能、異物等の巻き込み防止（停止）機能が搭載されているため安全性に優れる。
○ 動力は電動式のため低騒音、低振動である。

2. 提案する技術(シーズ)の概要

■シーズ(技術)の**全体像を以下①～③のポイントに絞って簡潔に**記載してください。

① 何について、何をする技術なのか

② 従来はどのような技術(現場ニーズ)で対応していたのか

③ 提案する技術は現場ニーズのどこに適用できるのか？

3－1. 提案の具体的内容

■現場ニーズ（従来技術）に対して、想定している提案内容を具体的に記載してください

3－2. 提案の具体的内容（写真orイメージ）

■提案の具体的内容について、 写真、イメージなどを入れて説明してください

4. 提案の特徴

■提案の特徴(強み、他社との差別化ポイント)を記載してください

他社との差別化では、比較表などを入れるとわかりやすくなります。

記載例①:強みのポイントを文章形式で強みを説明

強みとして、小型軽量で1回の充電で約●時間の除草作業が可能である。具体的には、重量●●kg、大きさ●cm×●cmであり、軽トラックでも容易に運搬が可能であり機械の積み下ろしも容易である。また、1回の充電で●時間の作業ができるため充電による作業の中断が不要となるため作業効率に優れる。他社では、エンジン式を使っており、いるが、劣化、メンテナンスが問題となっている。

記載例②:強みのポイントを列挙して説明する

・省電力:バッテリのみで長期に稼働できる(1回の充電で●時間稼働、充電時間は約●時間)
・小型軽量:重量●●kg、縦●cm×横●cm、高さ●cmであり軽トラックでの運搬が可能
・安全機能:飛び石防止機能を搭載、異物の自動検知機能を搭載

機能	提案技術	類似技術①	類似技術③
動力	電動	電動	エンジン
施工(除草)能力	300㎡/h	200㎡/h	200~600㎡/h
勾配	40度	30度	35度
草刈り高さ(cm)	2~10(調整可)	最小1cm(調整可)	5~10(調整可)
安全機能	飛び石、巻込み・転倒防止	飛び石、転倒防止	飛び石、転倒防止
写真等			

5－1. 現場導入により期待される効果

■現場導入により期待される効果（シーズ技術活用のメリット）を記載してください

・記載例：急勾配の除草作業における作業員の負担軽減

・・・・・・によって、遠隔操縦による機械除草が可能となるため、・・・が軽減されます

●●のコスト削減

・・・・・によって、除草作業能力が向上するため、コストが削減されます。

5－2. 現場導入により期待される効果

■当該技術が活用された実績（現場導入の事例等）があれば、写真・図解などを入れて説明してください。

・記載例

●●河川事務所の●●川の堤防除草作業（急勾配箇所）において活用された実績がある。本技術を導入した結果、従来の肩掛け式による除草と同等の除草作業効果を確認できており、作業員の安全性向上、苦渋作業の軽減にも寄与しているとの評判である。

例：現場導入事例の写真

例：現場導入効果（従来技術との性能比較図）

6. 現場導入にあたっての課題

■シーズ技術を現場導入する上で、想定される課題や現場条件等があれば記載してください

＜記載例＞
除草対象となる現地の草の種類（草丈、太さ等）、斜面の状態（湿潤や凹凸の程度）により、作業効率の変動又は刈り残し等が生じる場合があるため・・・本機械の導入にあたっては事前に現場条件を確認する必要がある。

■今後のシーズ技術の発展性等があれば記載してください

＜記載例＞
河川分野以外にも、●●の分野にも応用が可能です。
具体的には、・・・・・・・・。
●●と組み合わせて活用すると、さらに・・・・・・。

7. その他

■そのほかに提案上、必要な情報があれば記載してください。（必要に応じて頁追加も可）

8－1. 会社概要

【会社名】

【代表者氏名】

【住所】

【資本金】

【従業員数】

【年商(任意)】

8－2. 協力企業の概要

■本案件の提案において、協力企業がある場合は、協力企業の概要、協力してもらう内容等について記載してください。

様式ー3

令和8年度マッチングイベント日程調整表

技術シーズ名：

会社名：

日程調整										備考・注記など
1/18（月）		1/19（火）		1/20（水）		1/21（木）		1/22（金）		
AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	
1/25（月）		1/26（火）		1/27（水）		1/28（木）		1/29（金）		備考・注記など
AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	

【作成例】

日程調整										備考・注記など
1/18（月）		1/19（火）		1/20（水）		1/21（木）		1/22（金）		
AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	
		第3希望	第4希望		×	第1希望	第2希望		第5希望	※事務所等の都合により、希望に添えない場合もございます。 ※どうしても都合がつかない場合は「×」を選択してください。